

インターバンクの声（2015年9月1日）

テクニカル面から8月最終日のニューヨーク市場終値に注目が集まったが、やはりロンドン市場がバンクホリデーで休場だったことが大きく影響したのか、特に大きな波乱もないまま取引を終えてしまった。アジア市場では、日経平均が前場の下げ幅を広げて後場を終え、終盤下げ幅を縮小した上海株も日中は大きく下げていることもあり、週末に戻りつつあったリスク選好が再び後退したことがニューヨーク市場まで尾を引いてしまったようだ。米長期債利回りの上昇や月末のドル買いに対する事前予想が多かったことから、もう少しドル買いが進むかとも思われたが、市場の気持ちは既に水曜日の米ADP雇用統計や週末の雇用統計に向かってしまっているのだろう。とは言え月変わりしたことで実需なども飛び込んで来ることも想定されたり、豪中央銀行（RBA）の理事会の発表もあるので、突然の相場変動だけには注意したい。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。